

まつしま

議会だより

第154号

令和5年5月1日発行
宮城県松島町議会



撮影場所 陸前富山駅（松島7つの駅シリーズ⑥）

- ◇ 予算はどう使われるのか…………… P 2
- ◇ 新年度予算を問う…………… P 3
- ◇ 議案審議…………… P16
- ◇ 8人の議員が熱弁(一般質問)…………… P19
- ◇ 町民の声…………… P28

令和5年
第1回 定例会

[3月1日～3月15日]

令和5年度当初予算原案可決

テレビ回覧板で町からの情報 ～データ放送開始～

予算総額 132億4275万円 (うち一般会計予算64億9800万円)



櫻井公一町長は、令和5年度の施政方針を示した。今春、認定こども園の開園により、子育て環境が充実していく一方、婚活者の出会いと新婚世帯への支援や企業の誘致活動など、町外からの移住と町の定住に働きかけ、理想とするまちづくりの形成に一層の力を入れていくとした。また、行政サービスの向上と役場業務の効率化を図る自治体デジタルトランスフォーメーションと町政施行100周年に向けて歴史文化の記録作成に着手していくとした。



施政方針を説明する
櫻井町長

長期総合計画重点施策を着実に実行
↳ 令和5年度施政方針

令和5年第1回松島町議会定例会が令和5年3月1日から3月15日までの15日間の日程で開催された。また、開会初日には、新年度の施政方針が示された。町長から提出された議案17件(条例制定及び一部改正・補正予算等)、令和5年度の松島町各種会計予算9件は、慎重な審査を経てすべて原案のとおり可決した。一般質問は、8人の議員が各々の視点から町政について質問した。

令和5年度の各種会計予算

<p>心地よく元氣な暮らしを支えるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> テレビ回覧板(データ放送)運用開始 初原地区汚水管渠築造工事 一般住宅耐震診断及び耐震改修工事等 	<p>人・まち・自然ふれあい 安らぐまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 松くい虫防除事業 カーピラーの更新、設置 第五次地震被害想定調査 ハザードマップ、津波避難計画の見直し等 	<p>心も体もすこやかに笑顔あふれるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 骨髄バンクドナー助成 フレイル予防対策 保健福祉センター大規模改修工事
<p>自然と歴史に学び豊かさを育み広げるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語教育の推進 心のケア、不登校の支援 埋蔵文化財の公開講座 	<p>おもてなしの心を育み 愛されるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 松島湾の環境保全のPR 教育旅行誘致事業 観光交流協定市町との連携した観光交流事業等 	<p>豊かな地域で仕事・暮らしが つむぎ合う心かようまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育旅行誘致事業 農業所得向上策の高収益作物の作付支援 磯崎漁港機能保全事業等

令和5年度施政方針をすべて読みたい場合は下記QRコードから



松島町ホームページ
→「町長の部屋」
→「こちら町長室」→「施政方針」

令和5年度の各種会計予算

会計名	令和5年度	令和4年度	前年度当初比	
一般会計	64億9800万円	61億5600万円	5.56%	
特別会計	国民健康保険	18億9253万2千円	19億1945万7千円	△1.40%
	後期高齢者医療	2億3634万2千円	2億3298万4千円	1.44%
	介護保険	20億8918万8千円	20億8055万5千円	0.41%
	介護サービス事業	1071万8千円	1018万2千円	5.26%
	観瀨亭等	1億1426万円	8964万4千円	27.46%
松島区外区有財産	42万円	141万6千円	△70.34%	
水道事業会計	8億8354万3千円	9億7799万6千円	55.19%	
下水道事業会計	15億1775万2千円	10億8947万円	△18.90%	
合計	132億4275万5千円	125億5770万4千円	5.46%	



色川議長



菅野 隆二
議員

移住定住の推進について

問 1年間で松島町から転出した住民の数が353人。その数を少しでも抑えられる、松島に生まれ育った方々に長く住んでいただけるような施策が必要では。

企画調整課長 町からの転出者を少なくする手法として定住を促すようなりフォーム補助を行った。今後も国からの支援策、施策の動向を注視しながら、より町民が長く松島に暮らしていただけるような事業を作りたい。

問 移住定住の後押しとして、出合いの場のサポートや新婚世帯の応援事業に取り組む、このタイミングでパートナーシップやファミリーシップ制度の導入も検討するべきでは。

企画調整課長 実施する事業の効果を検証しながら制度導入に関しての調査・検討をしていきたい。

企業誘致について

問 松島イノベーションセンターへの企業誘致によって、どれくらいの雇用数増加を見込んでいるのか。

企画調整課長 確定値ではないのを前提として、数百から千ぐらいの見込みである。

農業競争力強化基盤整備事業について

問 町内の農業の安定的な農業経営のための農業生産基盤の整備、農業の担い手不足の解消を図る必要がある中で、北部地区の基盤整備事業が進んでいない。現状の確認と今後の考え方は。

町長 災害やコロナ禍の影響で町の税収が安定しない状況下で、全体的な費用も考慮すると予算には反映できなかった。ただし、令和5年度中に再度、見直しを図るなど継続して考えていきたい。

その他、次の質問をした。
・品井沼地区小さな拠点づくり事業、民間の活力導入、交通安全施設の充実などについて

不審者対策は万全か

問 今年3月1日、埼玉県戸田市の中学校の侵入事件が発生し、不審者による重大な事件が発生した。当町では、事件後、どのような対策がとられたのか伺う。

教育長 すぐに校長会で、不審者対策への対応について指示をだした。各学校に配備するセコムに直接通報する装置等や有事を想定した訓練などを行っている。

問 学校の卒業式や入学式、さらに認定こども園の落成式など、人の出入りが多くなる時期でもある。町の危機管理体制は大丈夫なのか。

町長 小・中学校以外に松島高等学校もあり、絶対的に弱者の防犯に関して、事あるごとに防犯指導隊など地域の方々へ注意喚起のお願いをしている。

危機管理監 近年、不審者の情報が多くなっており、防犯指導隊と連携を密にしている。早い段階での安心メール、SNS等を活用している。



桜井 ていこ
議員

交通社会実験の検証は

問 初原バイパスの早期完成と国道45号の交通渋滞が長年の課題であった。昨年10月に国道45号松島海岸地区・交通社会実験が実施されたが、検証は進んでいるのか。また、検証結果がでているのであれば、どのような内容が報告されるものか。

町長 実施主体の松島町交通社会実験協議会の検証では、全てデータがでているので、時期をみてお示しする。また、3月中旬に、社会実験協議会の会議があり、今年度の社会実験の基本的な考え方が示される予定である。社会実験を活かして、初原バイパス・利府街道の改修につなげ、県のバイパス構想を含め今後、議会にお示ししたい。



学校の不審者対策 セコム緊急通報



杉原 崇
議員

企業版ふるさと納税について

問 七十七銀行が主催した企業版ふるさと納税マッチングイベントが開催され、民間企業の担当者を前に、県内の首長が震災伝承や子育てなど魅力ある地方創生プロジェクトなどをプレゼンしたとの事だが、当町における成果は。

企画調整課長 近隣のメガソーラーと、今回開発されるイノベーションを連携させて、電力についても地産地消を行うマイクログリッド構想というのを町長がプレゼンした。全国でもほぼ例を見ないゼロカーボンを目指した工業団地の誘致というところで、最近ではもう毎日のように問合せがある状況であり、寄附の話だけではなく、出資、さらには計画にも参画したいという申し出もある。

出合いサポートについて

問 出合いサポート事業として、10年以上商工会青年部で行っていたが、来年度以降は実施しないという事である。来年度に予算化している出合いサポート事業とは。

企画調整課長 出合いサポート事業は宮城県で事業着手しているAIを活用したマッチング支援事業に賛同する形で、その活動資金を支援していく。また、宮城県青年会議所で行っている活動についても、町から入会金と活動費について支援をしていきたい。

子育て支援について

問 認定こども園松島めぶきの森の開園は町外へのアピールになるが、その先を見据えて、子育て世代の移住定住につながる今後の子育て支援策についての考えは。

町長 例えば、「あの町に行くと子育ては何かいいなあ」というポジティブなイメージが広がっていけば、おのずと町には子育て世代の方々が来てくれるかもしれない。そういう環境をしっかりとつくるといことが大事である。それに向けて、一つ一つ着実にやっていきたい。

その他、次の質問をした。
・ふるさと納税、企業誘致、英語教育について



米川 修司
議員

防災無線の時報メロディについて

問 正午のメロディ「エーデルワイス」は新年度より、本町にゆかりのある「どんぐりころころ」に変更されるが、その音源はどのようなものか。

危機管理監 町内の幼稚園の先生に音源を作成してもらっている。

問 朝のメロディ「野ばら」は新年度より、生活スタイルや働き方の変化を踏まえ中止されるが、子どもの早起きを促す、高齢者の健康に寄与するといった効果が期待できることから、やはり朝も必要と町民から声が上がってくる際には、ぜひ再開を検討してもらいたい。

危機管理監 私としても生まれ育った頃から毎朝聴いているだけに中止には抵抗があるが、まず一度やるべきことをやってみて、その後は町民の反応を見ながら柔軟に対応していく。

下水道会計の公営企業会計移行について

問 下水道に先立って水道事業が公営企業会計となっているが、その具体的な成果は。

町長 水道事業を維持するのに経費が掛かり過ぎるのは事実だが、東日本大震災のような災害時においては町独自の水施設を抱えることにより、町民の安心・安全を守るという意味では自主財源が大いに役立っている。

通学路等の危険ブロック塀の除却について

問 危険ブロック塀の除却の進捗状況、及び新年度における助成金交付件数の見込みは。

建設課長 危険ブロック塀は調査したところ33ヶ所あったが、令和4年度末において約20ヶ所はすでに除却されており、調査した場所の他にも除却が生じているものの、新年度も約5件の助成を予定し毎年このペースで安全性を高めていく。



危険ブロック塀のイメージ画像



小澤 陽子
議員

放課後の有効利用は

問 英語教育を、放課後授業で活用する考えはあるか。

教育長 英語は、今年あたり講師を立てて何回かやりたいと思う。

子ども国際観光科の現在の状況は

問 子ども国際観光科にとっても期待をしていたが、この1年間の成果は。

教育長 予定通りではないが、今後さらにスキルアップを図る。

幼児期からの教育が大切

問 こども園との英語のカリキュラムの連携は。

町民福祉課長 A L Tを活用した英語の取り組みをしたいと認定こども園から話があり、今後希望があればその方向で進むのではないかと認識している。

ICT支援の成果は。

教育次長兼教育課長 子ども達、先生方併せて、全体的にスキルは上がっている。

食の大切さが問われる時代であるが

問 食育指導は、どのようなものか。

教育長 野菜の栄養の違い、残食、栄養のバランスも教えている。

地産地消はとても大切なこと、

問 フードマイレージ的に見ても100%が理想であるが地産地消の推進とはどのようなことか。

産業観光課長 観光客や地元の方に地元産を味わってもらおう、という趣旨である。

値段や売り先とか、心の幸せや満足感等、どのように思っているのか。

問 値段については、わかりかねるが、自分の作ったものを食べていただくという自体が、やっぱり農家にとっては幸せなことなのではないかなと思う。

産業観光課長 値段については、わかりかねるが、自分の作ったものを食べていただくという自体が、やっぱり農家にとっては幸せなことなのではないかなと思う。



庁舎に掲げられている垂れ幕

総括質疑



高橋 幸彦
議員

町の財政状況は

問 人口が減っている中で予算は年々増えてきている。その要因は何か。

副町長 人件費等の義務的な経費は変わっていないが、社会保障費が増加している。また、学校施設を含めた公共施設の補修もある。新年度から3年間で保健福祉センターを改修する。

企業版ふるさと納税制度の増収の見込みは

問 企業版ふるさと納税の予算が5千万円アップしているが、見込みは。

町長 正直かなり大きな数字であり、しんどいが今まで以上に力をいれていく。議員の力も借りたい。

出会いサポート事業とは

問 以前に行っていた商工会青年部の「わくわくカップリング事業」との違いは。

町長 商工会からは、これまでの成果もあり、ひとつの区切りとすると

言うことであった。「出会いサポート事業」は宮城県青年会館の事業でありマッチングアプリ「みやマリ！」も含めて3年間集中して行う事業である。

職員定数等の適正化は

問 新年度から、デジタル推進室を設置するが、今年度で終了するコクナワクチン推進室同様、職員のほとんどが兼任である。職員定数に問題はないのか。

町長 町民の安心・安全を守るためには、残業や休日等の対応も町民から求められれば、きちんと応じていかなければならない。

心のケア、不登校問題への対策は

問 昨年度の決算で、不登校の児童生徒数が小学校8人、中学校15人と多かったが、新年度の対策は。

教育長 今年2月現在で小学校3人、中学校16人と少し減っている。特に注目してほしいのは、新しく不登校になったのは小学校1人、中学校3人と非常に減っていることである。今後も新規の不登校者が出ないようにしていきたい。

その他、次の質問をした。
・大雨時の排水ポンプ場の稼働について



赤間 幸夫
議員

予算編成は

問 当初予算は、一般会計の予算規模で対前年比5.6%の増であり、予算規模的には3億4,000万円ほど伸ばしている。町民からの意見や要望を反映した予算編成としたのか。

町長 光熱水費の値上げと物価高が見込まれる中、主に集会施設等の公共施設での指定管理者の継続、認定こども園の補助、保健福祉センター（どんぐり）の大規模改修事業などが、予算規模を押し上げている。

問 4月開園予定の認定こども園めぶきの森に対する町からの人的支援は、どうなっているのか。また、シルバー人材センターに対する補助の在り方は、どの様なものか。

町長 「めぶきの森」に対する人的支援は、3名の職員の派遣を予定している。

副町長 業務委託をする場合の単価及び事務費は、インボイス等の兼ね合いからアップして予算反映している。

過疎地域指定と過疎債

問 「過疎地域持続的発展市町村計画」を受け、特に町民にアピールする点はどの様なものか。

町長 充当率の高い過疎債を活かし、どんぐりの大規模改修工事と消防設備としての車両購入を考えている。どんぐりの改修は3ヶ年で進めていくが、過疎債といえども借金であるので、活用策を見極めていきたい。

都市基盤整備の方向性

問 住み心地のよい住環境を提供するための防災対策の推進と都市基盤整備の進め方を伺う。

副町長 住環境整備のための都市計画道路路網の見直しを行う。また、市街化区域に隣接する既存の住宅地を調査し、線引きの在り方も検討に入れた見直しを考えていく。松島イノベーションヒルズを推進してきたというのは、ひとつの実績になる。これからは、松島町に新たな用途地域指定と都市施設が必要という認識を持って、国、県にしっかりとアピールしていく。そういう方向性を出していくるようにしていきたい。

その他、次の質問をした。
・厳しい状況における財政運営の在り方、町民ニーズの把握について



今野 章
議員

防災・減災・水害対策は

問 物価高騰に直面している町民や町内事業者の支援に取り組むとしているが、予算への反映は。

町長 令和5年度での新規予算は2億9,700万円。どんぐり等の改修経費以外が価格高騰に伴う予算になる。物価の高止まり感があり、今後の国の対応に期待したい。

問 防災・減災対策は最重要と言っているが、計上された予算の内容は。

危機管理監 ハザードマップに県の津波浸水想定と新たに内水害のハザードを加える。また、防災行政無線の内容を電話で確認や気象庁発表の災害関連情報をライン等で発信するサービスも始める。

問 昨年や4年前の大雨で被害が大きかった松島駅周辺や高城町駅周辺、初原や反町地区など水害対策は。

副町長 間坂地区については、調整池の用地等についてJRと協議中で

ある。初原・反町地区では防衛省と雨水排水対策への補助等で協議している。高城駅周辺は、新町ポンプ場と高城ポンプ場の間で分水を進めるが、高城ポンプ場は水路にポンプを増設しただけでは十分な排水はできず、技術面での検討をしている。新年度予算には計上していないが、総事業費で20億円を超えらると思われる。

問 中学校にプールは必要ないのか
副町長 中学校のプールを解体して以降、美遊の温水プールで授業が行われているが、中学校にプールは必要ないのか。

教育長 プールは施設の劣化と温度などの安全に配慮ができず解体した。プールはカリキュラムの必須にもなっていない。移動や授業時間に影響があるが、しばらく美遊の利用が続くことになる。

問 学校の体育館にはエアコンがない。国の緊急防災対策では、避難施設の体育館に補助等もある。設置の考えはないか。

町長 運動のための体育館にエアコンは必要ないと思うが、避難を考えたとき、体育館の限られた場所やスポットエアコンなどの検討は必要と考える。

町長の考えを問う

総括質疑



高橋利典
議員

問 河道掘削で越水は防げるか

町長 高城川の高城大橋から田中川合流地点まで河川改修実施と明記され、田中川・新川の越水対策として河道掘削が県で実施されるが、計画の概要は。

町長 昨年7月15日、16日の大雨で田中川、新川に相当数の被害があった。今後の取り組み等については、県と何回も協議してきた。今回の件について県は、スムーズに取り組んでくれたと感じている。

問 今後の進捗状況は。

建設課長 田中川と新川については、今年4月頃から本格的に河道掘削が始まっていくものときいている。宮城県土木・建築行政推進計画では、見える川づくり10ヶ年計画で、田中川、新川の河道掘削が追加になった。また、田中川は水の出方がどうだったのか設計コンサルタントに委託をして、今、調査中ということである。当然、高城川の河道掘削もその中に

盛り込まれているので、今後、実施されるものと考えている。

問 文化財の保存状況を改善すべきでは

町長 文化財・埋蔵文化財の保存状況は手樽交流センターの空調設備がない保管状況になっている。良好な状況での保存管理が必要ではないか。また文化財拠点施設整備の考えはないか。

教育課長 現在の文化財の保存の状況や展示の手法等について、いろいろな課題が山積している。施設や膨大な数の文化財を保管しながら展示することは、これからの検討課題となるが、かなり大変な作業であり、一筋縄ではいかない。難しいが教育委員会内で相談しながら、文化財のありようについて検討していきたい。

その他、次の質問をした。
・複式学級解消のため小中一貫教育



片山正弘
議員

問 令和5年度の最重要課題とは

町長 自然災害の対応を使命に最重要課題へ取り組むと示されたが、本町の定住を進める過程で避けられないのは、雨水対策である。公共下水道計画の事業認可の見直しなどの考えは。

町長 公共下水道事業の全体計画および事業認可見直し業務は、今年度で認可される予定であり、実施に向けた補助事業も含めて取り組んでいく。

問 副町長より約20億円を要する高城雨水ポンプ場の分水計画等を示された。下水道法の認可変更は、難しい状況と思うが早期の雨水対策を進めるべきではないか。

町長 都市計画決定は、相当なハードルであり、令和8年度あたりに補助事業が決定されれば事業着手の流れをつかめる。これらの進捗状況を見極めて取り組んでいく。

問 高齢弱者に寄り添う対応は

町長 近ごろ、貴重な財産などが強盗に奪われる凶悪な犯罪が全国で多発している。高齢弱者に対して、寄り添いながらの温かい見守りなど、防犯面の取り組みについてどう考えるか。

町長 多くの高齢者の方々と意見交換をして、活路と方向を見いだしながら、地域コミュニティの形成を促していく、民生委員の負担も減らしながら運営していくことが必要と感じる。

総務課長 警察からの情報を含め、内容もいろいろ検討していきたい。防犯上の話と高齢者の総合的な支援があると思うので、いろいろな確認をしながら検討していきたい。

第1分科会 第1分科会が審査する課

議会事務局 / 総務課 / 選挙管理委員会 / 企画調整課 / 財務課 (松島区外区有財産特別会計) / 産業観光課 (観瀾亭等特別会計) / ※()内の会計を含む。

企画調整

主なつかいみち

広報公聴費	695万円	(70万円)
企画費	1,684万円	(2万円)
電子計算費	8,187万円	(△35万円)
地方創生費	1億5,564万円	(5,554万円)

問 移住定住の促進を目指すためにも、買い物をする場所の確保は必要である。明神地区のスーパーなど誘致の進展は。

企画調整課次長 明神地区においてスーパーとは言えないが、事業者と相談している。初原の松島イノベーションビルズを含めてPRしているが、現況では厳しいとの回答が多く難しい。

問 テレビ回覧板についての仕組みは。

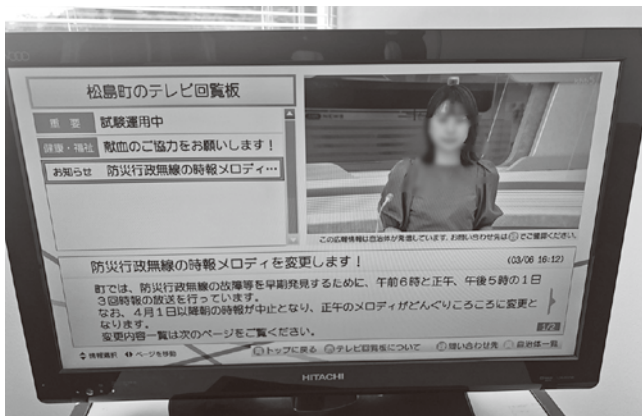
企画調整課主査 該当のチャンネルに合わせてリモコンのdボタンを押すと、町が設定したお知らせをテレビで見ることが出来る。各種SNSによる情報

テレビ回覧板についての仕組みは

についてもお知らせできる点で、スマートフォンに不慣れな方でもタイムリーな情報を取得できる。

問 品井沼に限らないが、市街化調整区域に家が建てられないという問題について、解決する手法はないか。

企画調整課長 市街化調整区域の住宅地区では「コミュニティの維持」を目的として地区計画が認められた。今後、地区計画をたて、維持していく考えである。



テレビ回覧板

総務・環境防災

主なつかいみち

職員研修経費	277万円	(52万円)
施設管理費(集会施設)	3,374万円	(2,800万円)
交通安全費	792万円	(7万円)
町民バス運行費	3,512万円	(133万円)
塵芥処理費・し尿処理費	2億5,395万円	(249万円)
消防費	2億8,475万円	(△2,058万円)

※()内は前年度対比



旧役場前信号機

予算質疑

町民バスの利用状況は

問 町民バスにおいて、他市町と比較した利用状況は。また、今後の町としての考えは。

環境防災班長 周辺市町と比較すると利用率は低い。直営での運営が厳しい状況となっているため、令和5年度中に運行ルートの見直しや業務委託での運行など、総合的に検討をしていきたい。

問 町管理防犯灯は全てLED化されたのか。また、地区管理分に対する支援は。

環境防災班長 町管理防犯灯のLED化は令和4年度に全て完了した。地区管理防犯灯については、事業費の2分の1、上限2万円の補助を継続して行う。170件程更新を進めることができた。

問 旧役場前の信号機の時間について、改善できないのか。

環境防災班長 職員が交通量を調査し、時間の調整を警察に要望している。今のところ、いつ調整するという連絡はないため、引き続き要望を行う。

令和5年度予算 どう使われるのか

各課に問う

財務・税務

主なつかいみち

財産管理費	7,920万円	(405万円)
ふるさと納税費	7,329万円	(2,917万円)
賦課徴収費	4,665万円	(△1,982万円)

農林水産業・商工・観光

主なつかいみち

農業振興費・農地費	4,663万円	(△938万円)
園芸振興費・林業振興費	4,756万円	(△625万円)
商工業振興費	5,508万円	(△75万円)
観光費	6,370万円	(520万円)

問 ふるさと納税のポータルサイトを増やす考えと新聞広告などの活用について伺う。

財政班長 ポータルサイトは新年度で最低1つは増やしたいと考えている。早い段階で実施できるように調整中である。広告に関しては広告料を予算化していないので、ポータルサイトを充実させることで広く周知したい。

問 庁舎用地の賃貸借契約について、企画調整課で相手方と協議を行っているが、契約は財務課なのか？



教育旅行ワークブック【松島 × 探究】

ふるさと納税額増加への施策は

財政班長 契約更新に関する協議は政策的な観点もあり企画調整課が進めていたが、契約の具体的な方向性が決定した時点で庁舎管理担当として財務課で契約締結を行ったものである。

問 松島区外区有財産特別会計に幡谷区と高城区が最後に残った理由は？

財務課長 松島区がやれば他もやるという流れであったことから話を進めた結果、このようになったが、何か問題があったわけではない。

各種産業に対しての振興施策は

問 農業の後継者不足の問題を解消するための計画はあるのか。農業への関心を高める農業と観光を絡めたツアーなどの実施は考えていないのか。

産業振興班長 県の支援事業などは活用していくが、町として具体的な計画はない。観光班が教育旅行に農業体験を組み込むプログラムを考えているので産業振興班、観光班で連携を取りながら実現していきたい。

問 松島パノラマハウスの使用実績についての考えは？

観光班長 松島パノラマハウスの使用については以前から使用実績が乏しいことが指摘されている。調整を行いつつ、今後の活用方法を検討していきたい。

問 観瀾亭トイレの工事費用はどのくらいか。財源は観瀾亭等特別会計で賄えるのか。

観光班長 3,000万円未満である。全て積立金で賄う。



松島町ふるさと寄附金ウェブサイトより

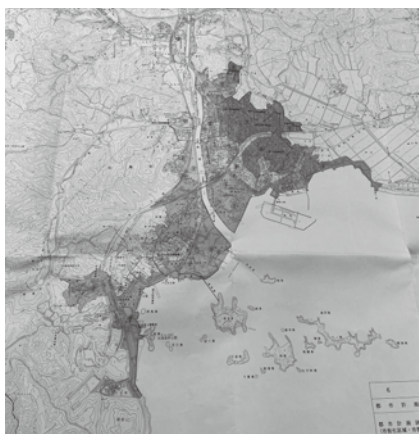
第2分科会 第2分科会が審査する課

町民福祉課（国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計）/健康長寿課（介護保険特別会計・介護サービス事業特別会計）/建設課/教育委員会/水道事業所（水道事業会計・下水道事業会計）/※（ ）内の会計を含む。

建設・施設管理

主なつかいみち

漁港管理費	1,381万円	(1,311万円)
道路橋梁費	9,521万円	(301万円)
河川費	292万円	(45万円)
町営住宅・木造住宅耐震経費	1,092万円	(△173万円)



(参考) 都市計画図

問 道路維持費が令和4年度より大幅に下がっている理由は。
建設課長 道路メンテナンス点検は、令和4年度が最終年度であり、令和5年度の予算がないためである。
問 要望があり舗装補修しなければならない箇所は。
建設班長 現在約90ヶ所あり、すべてのヶ所を整備すると概算になるが、約5億2,000万円かかる試算となっている。着手は、地区ごとに偏りが出ないよう選定している。

都市計画道路の見直しは

問 松島町都市計画道路の見直し検討業務委託の内容は。
建設班長 令和5年度は、現状分析と都市計画道路見直し路線の抽出など検討する。
建設課長 昭和32年に決定した都市計画道路から見直しが行われていないため、宮城県からの指導があり、補助事業として3分の1の補助がつくことから実施することになった。他の市町でも、すでに実施しているところがある。

水道・下水道

主なつかいみち

水道事業会計	8億8,354万円	(△9,445万円)
下水道事業会計	15億1,775万円	(4億2,828万円)
合併処理浄化槽設置事業	508万円	(△1万円)

※（ ）内は前年度対比

雨水路の清掃業務の説明を

問 令和5年度から公営企業会計へ移行するが、公共下水道費から4億5,800万円交付する内容は。
水道事業所副所長 下水道事業会計の負担金（下水道管理）2億7,800万円と補助金（汚水）1億8,000万円となる。

問 雨水路清掃業務について詳しく説明を。
水道事業所副所長 雨水路清掃業務は、都市部の下水道計画区域の水路11路線を毎年行い、要望のあった際は、可能な範囲で行っている。

問 合併浄化槽の設置状況と地域ごとの推進計画はあるのか。
水道事業所副所長 合併浄化槽設置事業は、国に5ヶ年の整備計画を提出し、毎年10基ずつ計画している。対象エリアは下水道処理計画区域以外の場所になる。



水道事業所

令和5年度予算 どう使われるのか

各課に問う

学校教育・生涯学習

主なつかいみち

小学校費	1億1,400万円	(1,384万円)
中学校費	4,842万円	(△334万円)
社会教育・保健体育費	2億4,015万円	(2,094万円)
幼稚園費	7,108万円	(△311万円)



もみの木教室

問 会計年度任用職員の支援員2名増の理由について。
教育長 支援を必要とする子どもが増えている傾向があり、支援員2名を増員している。

もみの木教室の今後は

問 不登校児童数及びその原因は。
学校教育班長 小学校3名、中学校16名、一つの要因だけではなく複合的にあるケースが多い。

問 もみの木教室は、国補助がなくなると事業がなくなるのか。今後の見通しは。
教育長 なんとか予算取りをしながら対応していきたい。

問 教職員だけではなく児童生徒へのICT機器操作のフォローはどうなっているのか。
教育課次長兼課長 教職員を含め、学校全体のICTスキルを高めていく。

問 牛乳等の提供停止には医師の診断書が必要か。
給食センター所長 医師の診断書の提出が必要である。

健康長寿・介護

主なつかいみち

老人福祉費	3億2,160万円	(1,288万円)
保健福祉センター管理費	3億277万円	(2億3,320万円)
介護保険特別会計	20億8,918万円	(863万円)

高齢者見守り活動の充実について

問 元気な高齢の方が3日間こたつで倒れたままでいた事例を受け、緊急通報システムの周知など改善をのぞむ。
高齢者支援班長 みやぎ生協・河北新報・コンビニ・農協等と見守り協定をしている。既存のシステムの周知とあわせて検討する。

問 夕食宅配サービスにおいて、新年度から新容器に変更されるが、環境に配慮した素材となるように対応を求めらる。
健康づくり班長 保温容器を毎回洗浄することで人件費・光熱費を削減、感染対策も含め、使い捨て容器の変更を検討。事業者へ環境配慮した容器を要望していく。



町民サービス・福祉・こども

主なつかいみち

戸籍住民基本台帳費	5,116万円	(△33万円)
障害者福祉費	4億2,690万円	(2,880万円)
保育所費	2億1,852万円	(△6,960万円)
子育て支援事業費	1億7,539万円	(1億6,572万円)

反対

今野 章 議員

国は、大軍拡を進めているが、戦争準備ではなく平和の準備をすべきだ。また原発事故による汚染水の海洋放出など風評被害も懸念されるが、町は町民の命や財産、権利の擁護者であるべきである。

個人情報保護条例の廃止・マイナンバーカードへの健康保険証・銀行口座などの紐づけは、プライバシー侵害や情報漏洩の危険がある。物価高騰の中、公共施設等の使用料の見直しには反対。10月からのインボイス導入中止も求めるべきである。温暖化対策を推進する実行計画の策定や高齢者福祉として、ゴミ捨てや買い物、掃除など日常生活支援の仕組みも必要である。学校給食の無償化の推進、高城や松島駅周辺、初原など水害対策の本格的な予算がない。

賛成

櫻井 靖 議員

世界情勢が不安定な中、町長を先頭に「活気あるまち・松島」の実現に向けて、気概と責任を持ってわき上がる諸課題に取り組んでいかれるという意気込みに対して期待している。

町長自ら多くの町民の声を直接聞く時間を持ち、その声をまちづくりに活かしていくアナログな手法と業務の効率化のためにデジタル技術の効果的な活用を行い、町民にとって便利でやさしいハイブリッドな行政サービスを目指す考えは大いに共感できる。

大きな変化はないかもしれないが、限りある予算の中、一步一步着実に目標に向けて歩みを止めず進んでいることが、この予算からは読み取れる。

令和10年、町政施行100周年の節目の年には、大きな成果として、今計画されている施策が大きな実を結ぶことを期待し、賛成とする。

こんな理由で 賛成です

反対

今野 章 議員

国保制度は、加入者の保険料だけで制度運営することが難しく、保険財政の多くの部分を国庫で賄う制度設計となっていたが、国は40年ほど前から国保への定率国庫負担等の削減を繰り返してきた。同時に、国保加入者の高齢化の進展、医療費の増高、そして国保税の高騰と加入者の負担能力を超えた税負担が求められるようになった。

町では、財政調整基金の取り崩しで保険税率の見直しや子ども均等割をなくす対策を講じてきたが、他の健康保険と比較し重い負担となっており、一層の負担軽減と共に医療保険間の不公平の是正と国庫負担の増額を国に強く求めるべきである。

また、現行の健康保険証をマイナンバーカードに一本化する趣旨に疑問を感じる。また、保険証がカードかの違いで、医療を必要とする人への窓口負担の差別化を図るべきではない。

賛成

阿部 幸夫 議員

本格的な少子高齢化や生産年齢人口の減少が進む中で、本制度を取り巻く環境は更に厳しさを増している。また、本町は加入者割合からみて国保の財政基盤が弱いのが現状である。国民健康保険特別会計の歳入歳出予算額は、前年度比2,692万5,000円の減、率にしてマイナス1.4%となる。国・県の連携のもと進める全ての世代が、安心感と納得感の得られる社会保険制度の確立に向けて、低所得者への軽減措置と医療費適正化のほか、出産一時金支給額の拡充など、被保険者の生活実態に寄り添い、適切に予算を見積った内容とされている。さらに、子育て家庭の医療費の拡充制度の継続と、データヘルス計画策定における町民の受診傾向の地域性を生かした保健事業を充実させ、町民の健康の確保に努めるとともに、国保税の収納率の向上や特定健康診査等の受診率の引き上げを望むものとする。

後期高齢者医療特別会計

反対

今野 章員

昨年10月、年収に応じて医療費の窓口負担を2割負担にした。国はこの負担増で受診抑制が生まれる想定をしており高齢者いじめの制度改悪である。高齢になれば病気になるのは当たり前で複数の病気を抱え、そのため医療費も多くかかることになる。

ウクライナ侵略に起因する食料やエネルギーなど諸物価が高騰するも、僅かな年金が削減され、生きることや生活への不安は増大しており、本来、高齢になったら医療費をはじめとする負担を軽くする考え方が必要である。

ところが、この制度は逆に75歳を過ぎると医療を別枠にし、負担が重くなる。74歳まで子どもの扶養でも75歳から新たに保険料を払う仕組み、高齢者の生活実態を無視し、能力を超えた負担を求めるもので直ちに廃止し、元の老人保健制度に戻すべきである。

賛成

桜井ていこ 議員

後期高齢者医療制度の財源は、約5割を国や自治体からの公費、約4割を現役世代からの支援金、約1割を後期高齢者の保険料で賄っている。また、国では、給付は高齢者、負担は現役世代が中心という従来の社会保障の構造から、一部の方の患者窓口負担割合を2割に引き上げるなど、見直しがされた。

本町においても、物価や電気料の高騰など大変厳しい生活を余儀なくされている後期高齢者にとって、今後も厳しい状況が続くと思われる。年金をやりくりしながら受診せざるを得ない被保険者の生活が急変することのないよう、制度を運営する宮城県後期高齢者医療広域連合や宮城県に要望をお願いしたい。安心して医療を受け続けられるよう、広域連合と連携しながら、病气や介護の予防につながる施策の充実を図り、円滑な運営を今後も期待して賛成とする。

予算審査特別委員会 現地調査

3月8日に5ヶ所の現地調査を行いました。

明治潜穴公園



河川敷の雑木の状況を確認

本郷ふれあいセンター



エアコン設置工事の場所を確認

北小泉地区 (防犯灯照明交換)



防犯灯照明をLED照明に交換予定

保健福祉センター



令和5年から7年まで改修工事を予定

特別委員会からの意見・要望

予算審査特別委員会は、第1分科会(総務経済常任委員会) 第2分科会(教育民生常任委員会)で、一般会計・特別会計・水道事業会計・下水道事業会計からなる令和5年度各種会計予算について6日間の審査を行った。審査の結果、以下の意見や要望等を町長へ提出した。



予算審査特別委員会 阿部幸夫 委員長

テレビ回覧板の効果的な活用

テレビ回覧板は、町のホームページやSNSなどから情報を得られない町民のリアルタイムな情報ツールとして有効である。広く町民に運用の開始と操作方法を周知すると同時に、情報の掲載内容など工夫し、より効果的な活用について検討すべきである。

企業誘致・企業版ふるさと納税の推進

企業誘致や企業版ふるさと納税獲得の積極的な姿勢に対する努力は評価する。人口増加・雇用・税収の確保のため、松島イノベーションヒルズや他地区へ誘致活動を継続するとともに、町民の求めるスパーマーケットなどへの働きかけにも努められたい。

町民バスについて

町民バスの円滑な運営は、町民の移動手段として重要である。持続的かつ安定的な交通体系の構築に向けて、民間の導入やデマンドタクシー活用など、様々な角度から検討すべきである。



イノベーションヒルズに接道予定道路の説明を受けました

町有財産の活用等

町が所有する普通財産のうち、有効活用が可能な土地について、積極的に調査を行い未利用地の活用や売り払いを検討すべきである。また、磯崎保育所の閉所後の施設跡地は、十分に検討し、有効活用されたい。

高齢者見守り活動の拡充

体力に自信がある高齢者でも突然動けなくなる場合もあるので、80歳以上の高齢者宅に、ひとりぐらし老人等緊急通報システムを設置するなど見守り活動の拡充の検討を望む。

宅配夕食サービス事業について

新年度から新容器に変更されることから、事業者には環境に配慮した素材となる対応を求められるほか、利用者への周知を図られたい。

下水道施設の管理

雨水・排水路の清掃及び安全対策の強化を引き続き望む。

除融雪作業の情報提供等の周知

冬期前に町民へ除融雪の出動基準を周知するとともに、除融雪の作業状況について、メール・LINE等で適時に町民への発信を望む。

LED化の促進(各課共通)

町管理の防犯灯のLED化は100%だが、地区管理は67%(磯崎分を除く)である。また、公施設等の照明のLED化もいまだ進んでいない。電気料金の高騰が財政への影響も大きなことや、2050年のカーボンニュートラル実現に向けLED化を促進すべきである。

令和5年 第1回 定例会 提出議案 (3月議会)

議員提案第1号 松島町議会の保有する個人情報の保護に関する条例の制定
個人情報保護制度について当議会独自の個人情報保護を講じるために制定

議案第1号 松島町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について
個人情報保護制度について全国的な共通基準での運用になることから法施行に必要な事項を制定

議案第2号 松島町犯罪被害者等支援助条例の制定について
犯罪被害者等が受けた被害の軽減等を図り、安全で安心して暮らせる地域社会の実現に寄与するため制定

議案第3号 松島町情報公開条例の一部改正について
全ての人が開示請求できるよう改正

議案第4号 松島町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
関係法律の施行に伴う条項ずれ等所要の改正

議案第5号 松島町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び松島町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
関係法令の施行に伴う安全計画の策定等所要の改正

議案第6号 松島町国民健康保険条例の一部改正について
出産育児一時金を50万円に引き上げる改正

議案第7号 宮城県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更について
白石市外二町組合が脱退することに伴う、宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更に対する議決を求めるもの

議案第8号 宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会を共同で設置する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会共同設置規約の変更について
白石市外二町組合が脱退することに伴う、宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会共同設置規約の変更に対する議決を求めるもの

議案第9号 宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会を共同で設置する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会共同設置規約の変更について
白石市外二町組合が脱退することに伴う、宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会共同設置規約の変更に対する議決を求めるもの

議案第10号 令和4年度松島町一般会計補正予算(第8号)
防犯灯設置整備等補助金等の事業費精査に伴う補正等

議案第11号 令和4年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
一般被保険者療養給費等の事業費精査に伴う補正等

議案第12号 令和4年度松島町介護保険特別会計補正予算(第3号)
介護保険給付費等の事業費精査に伴う補正

議案第13号 令和4年度松島町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)
居宅介護サービス計画費の実績見込み等の事業費精査に伴う補正

議案第14号 令和4年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第3号)
事業収入等の実績見込み等の事業費精査に伴う補正

議案第15号 令和4年度松島町松島区外区有財産特別会計補正予算(第2号)
今年度で閉鎖する松島区及び北小泉区の財産積立金を一般会計へ繰出する補正

議案第16号 令和4年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第5号)
汚水施設整備経費等の事業費精査に伴う補正

議案第17号 令和4年度松島町水道事業会計補正予算(第3号)
消費税及び地方消費税の還付等の事業費精査に伴う補正

令和5年度各種会計予算

- 議案第18号 令和5年度松島町一般会計予算
- 議案第19号 令和5年度松島町国民健康保険特別会計予算
- 議案第20号 令和5年度松島町後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第21号 令和5年度松島町介護保険特別会計予算
- 議案第22号 令和5年度松島町介護サービス事業特別会計予算
- 議案第23号 令和5年度松島町観瀾亭等特別会計予算
- 議案第24号 令和5年度松島町松島区外区有財産特別会計予算
- 議案第25号 令和5年度松島町水道事業会計予算
- 議案第26号 令和5年度松島町下水道事業会計予算

諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員に推薦について議会の意見を求める諮問

議案 審議

犯罪被害者やそのご家族への総合的な支援を目的に

犯罪被害者等支援条例を 4月から施行

議案第1号
松島町個人情報保護の保護に関する法律施行条例の制定について

質疑

赤間幸夫議員 平成27年の条例で制定された松島町個人情報保護条例に対して、これまでの開示請求の手續と個人情報保護審査会の開催頻度を伺う。

総務課長 過去5年間に
ついては、開示請求はない。伴って審査会の開催もない。

今野章議員 第三者へ自分の個人情報提供される場合、匿名加工されたにしても自身の情報はきちんとコントロールできないことが保障されないか。

総務課長 第三者へ情報を提供される際は当然、法律や条例に基づいての守秘義務が発生する。匿名加工情報についても基本的には名前の一部が分からぬような形で業務を遂行する流れになっているので保障はされている。

討論

反対討論 今野章議員

この条例は、国が行政の保有する個人情報の保護から活用する方向へと転換し、国の共通ルールで非個人情報となった個人情報、本人の同意なく第三者に提供し、目的外の利用を可能にするものであり、プライバシーを侵害するおそれがある。個人情報の自己コントロール権とチェックする審議会機能が縮小され、地方自治を後退させるものであることを指摘して反対とする。

議案審議

賛成討論 櫻井靖議員

本条例は、個人情報保護条例の廃止に伴い制定するもので、個人情報保護制度について、全国的な共通基準に沿った運用に必要なものである。また、匿名加工情報の提供は、それらから得られるデータが今後の日本の発展に欠かせないものであることから賛成する。

賛成多数・可決

議案第2号
松島町犯罪被害者等支援条例の制定について

質疑

菅野隆一議員 犯罪の被害に遭うと生活や医療、住居などそれぞれの担当課が異なる問題が発生する。設置される窓口は相談や問合せに対応する一本化した総合的対応窓口の設置という認識で良いのか。

総務課長 原則はそういうことにはなるが、それぞれ担当部署が異なる場合がある。できるだけ相談に来られた方の二度手間にならないように対応していく。

※このほかにも、赤間幸夫議員、杉原崇議員から質問がありました。

賛成全員・可決

議案第3号
松島町情報公開条例の一部改正について

質疑

米川修司議員 条例が制定された平成13年から20年以上改正されていない中、今回、改正に至った経緯について伺う。

総務課長 情報公開を町民に限定していたが、社会情勢を踏まえ、個人情報保護法との整合も図り、全ての方を対象に町として積極的に情報公開をするのが目的である。

※このほかにも、赤間幸夫議員、高橋利典議員から

ら質問がありました。

賛成全員・可決

議案第5号
松島町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び松島町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

質疑

小澤陽子議員 安全計画や継続計画の策定は町の職員が作成するのか。それとも、どこかに業務委託などするのかを伺う。

町民福祉課長 事業者が自らの計画を策定して町が確認して認可する立場となる。

※このほかにも、赤間幸夫議員から質問がありました。

賛成全員・可決

コロナウイルス感染症対応地方創生事業

松島は笑うがお得商品券発行・新規テナント出店 応援など計28事業の成果を検証

補正予算

議案第10号
令和4年度一般会計補
正予算(第8号)

○新型コロナウイルス感
染症対応地方創生事業
費 △3,205万円
○(都)根廻・初原線道路
整備事業
7,065万円

質疑

高橋幸彦議員 「松島は笑うがお得商品券発行事業補助金」については実施期間が短かったように思う。減額補正の理由を分析して次の施策に活かす対応はしているのか。

産業観光課長 分析する利用が大型店舗に集中してしまう傾向がみられた。町民の声を次回の商品券の事業に意見も参考にし取り組んでいく。

櫻井靖議員 「新規テナント出店応援空き店舗リノベーション助成事業」の実施件数が少ないが問合せ、申込みの件数と実際に助成された件数を伺う。

企画調整課長 当初は5件、5店舗を予定。実件数は1店舗、1件。この実施された1店舗のほか6件、相談があった。

赤間幸夫議員 (都)根廻・初原線道路整備事業については、初原側の委託料が幡谷側の工事請負費に振り替えられているのか。

建設課長 一旦は初原地区の委託料を減額する一方で、補助事業で対応できる分だけ根廻地区の工事費に振り向けている。

今野章議員 歳入において、災害援護貸付金及び住宅応急処理事業負担金が大幅に減額されている。具体的な内容は。

町民福祉課長 貸付金は一件当たり250万円で、当初19件を見込んだところ

実際の貸付けは1件のみとなった。負担金は1件当たり655千円で、当初19件を見込んだところ実際の申請は4件であったため大幅な減額補正となった。

賛成全員・可決

議案第15号
令和4年度松島町松島区外区有財産特別会計補正予算(第2号)

質疑

今野章議員 残っている高城区と幡谷区の閉鎖についての話し合いなどを含めた進捗状況は。

財務課長 1年間に2区ずつ閉鎖してきた事実、実情を踏まえて高城区及び幡谷区と協議しながら令和5年度末で特別会計の条例を廃止の形に進めていきたい。

賛成全員・可決

請願第1号

消費税のインボイス制度の実施延期を求める意見書提出について

請願の趣旨(抜粋)

新型コロナウイルス危機で物価・原材料の高騰など、営業も暮らしも厳しい中、令和5年10月からのインボイス制度(適格請求書等保存方式)実施に向けた準備が進められている。

この制度の問題点は、商取引において免税事業者が排除される懸念と免税事業者であった小規模事業者が課税業者となり、新たな税負担が発生することにある。

継続審査・付託先
総務経済常任委員会

諮問

人権擁護委員候補者の推薦

・・・適任と答申

齋藤一枝氏 (松島町高城)

議案採決結果表

表の見方

- ①採決結果 : 賛成全員 (可決または採択) → 全 賛成多数 (可決または採択) → 多
 賛成少数 (否決または不採択) → 否
 ②各議員の表決 : 賛成 → ○ 反対 → × ③その他 : 欠席 → 欠 退席 (除斥を含む) → 退 議長 → 議

令和5年第1回定例会

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	菅野隆二	米川修司	櫻井靖	桜井ていこ	杉原崇	後藤良郎	赤間幸夫	高橋幸彦	阿部幸夫	今野章	小澤陽子	片山正弘	高橋利典	色川晴夫	賛成	反対	
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	3月1日	適任と答申															議		
議提第1号	松島町議会の保有する個人情報の保護に関する条例の制定について	3月6日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議	12	1	
議案第1号	松島町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について		多	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	議	11	2	
議案第2号	松島町犯罪被害者等支援条例の制定について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第3号	松島町情報公開条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第4号	松島町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第5号	松島町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び松島町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第6号	松島町国民健康保険条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第7号	宮城県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第8号	宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会を共同で設置する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会共同設置規約の変更について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第9号	宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会を共同で設置する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会共同設置規約の変更について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第10号	令和4年度一般会計補正予算(第8号)		多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第11号	令和4年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第12号	令和4年度松島町介護保険特別会計補正予算(第3号)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第13号	令和4年度松島町介護サービス事業特別会計補正予算(第3号)		多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第14号	令和4年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第3号)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第15号	令和4年度松島町松島区外区有財産特別会計補正予算(第2号)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第16号	令和4年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第5号)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第17号	令和4年度松島町水道事業会計補正予算(第3号)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第18号	令和5年度松島町一般会計予算		多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議	11	2
議案第19号	令和5年度松島町国民健康保険特別会計予算		多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議	12	1
議案第20号	令和5年度松島町後期高齢者医療特別会計予算	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議	12	1	
議案第21号	令和5年度松島町介護保険特別会計予算	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0	
議案第22号	令和5年度松島町介護サービス事業特別会計予算	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0	
議案第23号	令和5年度松島町観瀾亭等特別会計予算	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0	
議案第24号	令和5年度松島町松島区外区有財産特別会計予算	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0	
議案第25号	令和5年度松島町水道事業会計予算	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0	
議案第26号	令和5年度松島町下水道事業会計予算	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0	

採決表



議員 二 隆 野 菅

食品価格高騰に伴う学校給食の栄養バランスへの影響は

答 材料の仕入れや献立内容を工夫しながら維持している

問 記録的な食品値上げが続いている中で子どもたちへ必要な栄養を維持した給食を提供できているのか。

教育次長兼教育課長

材料の仕入れや献立内容を工夫するなど、そういった努力も行いながら、学校給食接種基準量を下回らないよう、栄養バランスを維持したままの給食の提供を行っている。

問 栄養士さんをはじめ、現場スタッフへの負担が大きくなってきているのではないか。

教育次長兼教育課長

現場でも献立の作成には苦慮しているというのを知っているが、その辺も含めて栄養士と相談しながら対応している。

がら対応している。

問 令和4年11月に学校給食の中に金属のような球体が混入した事案についての発生状況やその後の対応について伺う。

教育次長兼教育課長

11月に松島中学校で給食の中に金属製の球体が発見された。その日のうちにその生徒の保護者に謝罪と状況報告を行ったのと同時に、米飯業者の施設及び機械類の点検確認を指示し、管轄の保健所にも立ち入り検査を求めた。その結果、その施設内での異物混入がないという報告を受け、改めて施設内および配送車を念入りに点検し、安全確認をした上で、給食の提供を継続した。

問 この金属の材質や混入経路の調査結果は。

教育次長兼教育課長

宮城県の公衆衛生協会の検査では金属の磁石のような材質であったという結果だった。混入経路の究明には至らなかった。

問 近隣自治体で給食費無償化の動きがある中で、今回予算組みをする際に改めて無償化の検討はされたのか。

町長

食事というものは自分たちが食べたものに対して対価が発生するもの。そういったものについてはいしつかり金額を支払うというのが通常なのではないか。



問

町はDXを推進して具体的にどんなことを実現したいのか

答

いつでもどこでも手軽にスマートで暮らしやすい町を目指す

問 新設される「デジタル推進室」の役割や人員構成は。

問 DX推進と企業誘致を併せて推進していくべきではないか。

副町長 デジタル化は職員全員で推進する形ではあるが、取りまとめる役割として推進室を設置する。専従で職員を1人と兼務で各部会の取りまとめ責任者である部会長という職員体制でスタートしたい。

企画調整課長 DX化の取組の中で企業がサテライトオフィスなどの形で地方進出するのをもひとつの企業誘致という認識を持っていて、DX推進と企業誘致の融合については今後、検討していく。





さくら い やすし
櫻 井 靖 議員

問 多文化共生を見据えて「やさしい日本語」の活用を

答 思いやりの心を持つことが大切

町長 日本に住む外国人に情報を伝えたいとき、多言語で翻訳、通訳するほかに「やさしい日本語」を広く活用することが期待されているが、全国的にまだ多くの人には知られていないと考えている。「やさしい日本語」の啓発やお知らせについて、他

問 日本が現在の経済状況を維持するためには、今後より多くの外国人を受け入れなければならぬ。そして、本町でも多くの外国人が居住することが予想される。日本に住む外国人とコミュニケーションを取る手段として「やさしい日本語」が注目されており、多文化共生を見据えて本町での「やさしい日本語」の活用について伺う。

自治体の取組情報なども収集し、今後研究していく。

産業観光課長 「やさしい日本語」の活用については、難しい言葉を使わないようにする、ゆっくり話をするなど、相手に対し思いやりの心を持つことが大切だと考えている。よりよいコミュニケーションを図ろうとする気持ちを、後押しするものであり、今後、庁舎の窓口においても、「やさしい日本語」の活用に取り組んでいけるよう努めていきたい。

やさしい日本語とは
普段使われている言葉を、外国人にも分かるように配慮した簡単な日本語のこと。
現在、日本に住んでいる外国人で、日本語を理解する外国人は62・6%。英語を理解する外国人は40%であるため、外国人とのコミュニケーションツールとして注目されている。
また、福祉的観点からも高齢者や子どもたちに対してもより理解をしてもらう方法として期待されている。



サークル活動の様子

問 新型コロナ後のサークル活動・サロン活動を活性化するために

答 アドバイスや手助けを
できる範囲で考えていく

問 我が町は元気な高齢者が多い町である。その理由の1つは高齢者のサークル活動・サロン活動が活発であったことが挙げられる。町として新型コロナ後のサークル活動を活性化するために、どのようなことを考えているのか。
どのサークルでも会員の募集に手を焼いているのが現状なので、サークルと町民とのマッチングを考えてもらえないか。
また、サークル等の役員のなり手不足解消のため、役場に提出する書類の簡素化やサークル等の事務関係を相談できる窓口の設置についての考えを伺う。

教育次長兼教育課長 サークル活動を活性化させる取り組みとして、文化観光交流館にサークル募集のチラシを置いたり、掲示板にサークルや教室の案内チラシ掲示している。また、教育委員会ホームページ内に中央公民館のページを開設したので、各種サークルの希望があれば、そのホームページを活用してメンバーの募集、新しいサークル活動の設立に使ってほしい。
また、地区の方や団体の方が事務作業等で困っていたら、私たち職員がアドバイスや手助けができる範囲で考えていく。



よね かわ しゅう じ
米川修司 議員

問 子どもの情操教育を増進するべく 小学校に金管バンドの設置を望む

答 中学校における部活動の地域移行が
終わった後には検討してもよい



とみやマーチングエコーズ
(R5.3.27 河北新報オンラインニュースより)

問 子どもが芸術文化を通じて豊かな心を育む機会
の創出を課題として、
新たに小学校に金管バンド
を設置するとよいので
は。

教育長 未経験の先生へ
指導をお願いせざるを得
ないこと、加えて土日に
誰が指導するのかといっ
た難題があるが、先ずもっ
て中学校における部活動
の地域移行が終わってか
らであればそのような話
もあってよい。

問 かつて小学校におい
て鼓笛隊の演奏が活発に
披露されていたように、
観光地である本町には学
校の内外を問わず発表や
活躍の場があることから、
町独自のマーチングバン
ドを結成してみてはどうか。

教育長 学校教育におい
ては諸事情により活動が
長続きしないことが多い
ので、まず大人から始め
てみて、その後はこの指
止まれという形で子ども
を吸い上げてもらいたい。

問 過疎地域指定を契機
として、町民が成果を実
感できる目新しい事業が
望ましく、たとえば川崎
町が給食費無償化を決断
したように、人口減少抑
制に資する起爆剤の一つ
としてマーチングバンド
を検討してはどうか。

町長 過疎地域指定につ
いては、国が後押しする
からまちづくりをきちん
とするように、と良い方
に捉えて、過疎債を有効
に使用してまちおこしに繋
がる方法を考えていく。

問 二小と五小の児童が通いやすい
ミニ児童館の開設を

答 留守家庭児童学級のスペースを
利用できれば可能

問 児童館の自由来館に
ついて、児童の居場所づ
くり及び地域の子育て支
援を目的として、二小と
五小の学区内で曜日と場
所を決めて、地域の方々
と協力しながら定期的に
ミニ児童館を開設しては
どうか。

町民福祉課長 二小につ
いては新たに旧二幼及び
旧高城保育所分園におい
て、五小については引き
続き品井沼農村環境改善
センターにおいて留守家
庭児童学級を開設してお
り、そのスペースを利用
できれば児童が一旦帰宅
してから自由に行き来す
る機会を得られる。

問 定住促進補助件数等に関する
目標値の引上げを

答 イノベーション・シジョン・ヒルズ構想が
加速すれば目標達成

問 令和7年度までの目
標値について、首都圏か
らの転入者数はすでに達
成、定住促進補助件数は
進捗率7割強であるが。

企画調整課長 令和6年
度供用開始予定の松島イ
ノベーション・シジョン・ヒルズ事業
が加速することで、十分
に目標を達成できる。



さくらい 桜井ていこ 議員

問 誰もが安心して利用できる トイレの設置を

答 施設の状況を踏まえて検討する

産業観光課長 男性の方が和式で、多機能の方が洋式のスタイルとなっている。全ての洋式化は今後、検討していく。

問 公衆トイレの和式・洋式（温水式）の改善について伺う。

町長 今後の施設の状況を踏まえながら設置できるように検討していきたい。

サニタリーボックスを配置する考えは。

問 男子トイレでも、サニタリーボックスが必要であると考ええる。食文化が欧米化し、高齢の男性を中心に膀胱の病気になる方が増えており、おむつや尿漏れパットで対応が一般的になってきた。

サニタリーボックスを配置する考えは。

問 観瀾亭のトイレはいつ完成するのか。

産業観光課長 今年度、設計が完了した。観光シーズンの閑散期となる冬場の工事を検討している。

問 介護者が周りを気にすることなく同行したり、目の不自由な方が安全に行けるよう点字ブロックの配置のほか、オストメイト対応などの多機能トイレの整備状況は。

総務課長 公共施設において、新たに整備する際には必ず設置している。多機能トイレについては、多目的トイレと表記し、介護を必要とする異性の方でも基本利用可能な状況である。点字対応では把握している範囲で46ヶ所を確認している。構造的に違う箇所もあるので、予算的な部分は、今後、検討していく。

問 小学校・中学校のトイレの和式・洋式の割合はどうなっているか。

教育次長兼教育課長 小中学校における洋式の割合は、小学校4割、中学校5割となっている。

問 学校の中でもLGBTQの多様性に対応するトイレの設置が望まれているが、設置数は。

教育次長兼教育課長 小学校で1ヶ所、中学校は既存の物の改修等を行っている。

問 脱炭素につながる取り組みは

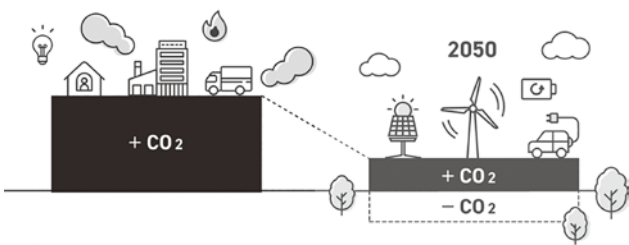
答 認識を持ってもらうことが一番重要

問 我が町においても気候変動対策をする取り組みが必要ではないか。

町長 2030年温室効果ガスを2013年度比で46%削減目標掲げている。町民・事業者が主体となり、対策を講じる認識をもってもらうことが重要と捉えている。

問 二酸化炭素の温室効果ガスの排出量削減のために省エネルギーの家電製品・LEDのテレビ・ノンフロンの冷蔵庫などに買換えの奨励の取り組みの考えはないか。

総務課長 エネルギー性の高い設備導入も温室効果ガス削減に向け高い効果が得られる対策であると認識している。広報やホームページで周知に努めたい。





おざわ ようこ 議員
小澤陽子

問 職員の適正人数及び 住民サービスについて

答 総体的には充足しており、
サービスについてはミスが起きないように努力する

問 松島町は、人口が減少し、現在は約1万3,000人程度となっており、県内でも有数の高齢化の町となっている。人口が減少しているのであれば、住民に対するサービスを提供する職員の数も変化が生ずるのではないかと思われる。会計年度任用職員を含めて、現在の町職員の適正数と実際勤務している人数は。

総務課長 職員数は、165人。会計年度職員は、113人の採用となる。職員の補助的な役割として採用している。

問 現在、職員数は充足しているのかどうか。

総務課長 総体的に適正な値になっている。

問 人口の減少が進みDX化やAI導入の予測や予想は考えているか。

総務課長 今後人口減少になれば、数字が減ることもある。必ずしもDXが進んだとの理由で職員数は減らせない。

問 町民サービスについて、転入した方に対するミスがあったようだが、住民に満足してもらおう行政の在り方が大切だと思う。どのような対応と今後の反省をしたのか。

副町長 まずその方には大変申し訳ないと思う。ミスが起きないように常に努力はしているが、再発防止に向け職員一丸となって取り組んでいく。

問 町民の森の再整備について

答 今後少し重要視して検討していく

問 町民の森は、センターロτζジを中心に、キャンプ、アスレチック、大型遊具と、松島町の子どもから高齢者まで多くの方々が訪れた町民の憩いの場所である。しかし、現在は、朽ち果てている。町は町民の本当に欲しいもの、要望したいものを理解しているのか。多くの観光客が訪れる素晴らしい町、しかしそうでない部分がある町、子ども達を持つ世帯がどこに行かなくても松島で遊ぶことのできる場所をもう一度、再整備してほしい、それが町民の皆さんの考え、意見、要望と思う。町長は、どのように考え、どのような対応が必要であり、その結果がどのような形で町に戻るとよいと考えるか。

町長 子どものにぎわいがつくれるようなところの方については今後少し重要視して検討していく。



平成28年から使用禁止の大型遊具



すぎ 杉 原 崇 議員

問 カーボンニュートラルに向けて、ブルーカーボンの活用を

答 ゼロカーボン宣言を出していきたいという考えで進めていきたい

問 海藻や海草、植物プランクトンなどが光合成により、大気中の二酸化炭素を吸収し、海洋生態系に取り込まれた炭素「ブルーカーボン」が注目されている。松島湾においてはアマモの造成事業が行われているが、現状を伺う。

町長 松島湾の藻場の状況は、東日本大震災に伴う津波の影響で99%が流出し、NPO法人によるモニタリング調査で30%程度回復しているという時期もあった。



アマモ (双観山付近)

問 二酸化炭素吸収量増加につながる藻場の造成・保全活動は、カーボンニュートラルに向けた取り組みに繋がるだけでなく、水質改善など豊かな松島湾の魅力向上の一助にもなりえる。当町における温暖化対策として、ブルーカーボンの積極的な活用を図るべきと考えられているか。

町長 東松島市と松島町の1市1町で、宮城県に松島湾の環境改善について要望書を出しているのが現状である。

最初からは難しいかもしれないが、ゼロカーボン宣言を出していきたいという考えで進めていきたい。

問 若者の投票率向上に向けて

答 子ども版タウンミーティングの積み重ねが投票率向上につながっていくのではないかなと思う

問 移動負担の軽減と投票機会の確保を図るため、バスによる移動投票所の検討を。

選挙管理委員会事務局長 移動投票所の実施は考えていないが、今後の高齢化の進行もあり、他自治体の取り組みの成果など情報収集を図って今後の施策に役立てていきたい。

ちづくりを自ら考える事で、問題解決に向けて主体的に取り組む「主権者教育」にも繋がっていると考え、今後の考えは。

企画調整課長 今後も各学校と企画内容、様々な施内容を協議しながら継続していきたい。

問 子ども版タウンミーティングはこれからのま

町長 子ども達の経験と、できるものなら町に残って、町の地域おこしに関



子ども版タウンミーティング

問 山形県遊佐町では少年議会を開催し、若者の視点から町政への提言や意見を町が積極的に採り上げることを通じて、若者の町政参加を促すことも目的としている。主権者教育の更なる推進、まちづくりへの参画に繋がる少年議会の設置を検討しては。

教育長 子ども議会等は議場には限られた子しか来ない。子ども版タウンミーティングの積み重ねが、投票率、あるいは自分の町を愛することにつながっていくのではないかと考える。



あかま ゆきお 赤間 幸夫 議員

問 新庁舎建設の検討無くして 借地期間延長とは

答 契約期限迫る中での判断、 20年にとらわれない

問 この10数年間の契約条件と今後延長しようとする契約条件は、同じ内容であるのか。

町長 賃貸借期間を除き、敷地面積や賃借料を含め基本的な契約内容は、現在と変更はない。

財務課長 契約書による契約ではなく、公正証書に基づいたもので付随する覚書の締結はない。

問 契約条件として、面積要件5,000平方メートルを超え、契約期間も20年に及ぶ。トータル契約額も超える。
議 議案に議案として上げていただくのが筋ではないのか。

問 仮庁舎の間に、住民の意向調査の把握や防災機能の充実と併せ、災害に強い場所の選定など、新庁舎建設の方針と共に、その実現に向けた検討経過はどの様に行われてきたのか。

副町長 前は、請負契約であり、建物を建てる時のルールから議会の議決を得た。今回は、面積とか用地買収行為ではないので、議会の議決を要しない判断である。



現庁舎の状況 (R5.4.4 撮影)

町長 震災復興、そしてコロナ禍、相次ぐ豪雨災害があったこと。今後、場所も踏まえ、住民の意見と議会の意見も聴取したうえで、そのときに松島町として本当にどこがいいのかと検討していきたい。副町長へ様々な課題を含めて指示をしている。

問 仮庁舎建設に要した費用や耐用年数、これまでの借地料と契約期間延長する分の総額、今後の仮庁舎増改築と維持管理に対する経費等の考察はどのようなものか。

町長 庁舎建設の事業費は7億1,340万4,707円であり、耐用年数は、構造が鉄骨造りであることから、減価償却資産の耐用年数等に関する省令により38年となる。借地料は、現在の契約期間の平成24年度から令和4年度まで1億2,149万3,500円となり、新たな契約期間の令和5年度以降は、仮に20年して借地料が2億3,160万7,200円となる。総額で、これまで支出した金額も含めると3億5,310万700円となる見込みである。

問 契約期限が到来したら、庁舎建てる前に原状回復して返すことになるのか。

財務課長 証書上は原状回復であるが、相手方と協議が調えばこのままという契約状況になっている。



あきらの 今野 章 議員

問 水道水の県基準を超える濁りについて

答 安全性に問題なく、町民への周知はしなかった

問 12月9日、仙台市と松島町で水道水の濁度が県の基準0.1を超えた。この事故をテレビ等で知った町民は少なからず不安を抱いたと思う。水道事業所の事故対応と町民への周知について伺う。

水道事業所長 事故は、設備点検中に緊急遮断弁が閉じ用水供給が停止。直ちに遮断弁を全開したが弁の開閉で送水管に付着した濁質が遊離し濁度が上昇した。事業所では、県より桜渡戸受水池前の水質監視測定装置による常時監視で、濁度の一時的な上昇はあるが水道法の基準値2度以下で安全性に問題ないと報告を受け受水を決定。町民への周知は行わなかった。

問 県が決めた水道水の濁度が0.1以下という基準はどんな基準か。

水道事業所長 厚労省が水道水のクリプトスポリジウム対策として、浄水場の「ろ過池等の出口の濁度を常に0.1度以下に維持すること」としたため、ろ過池以降の送水管の水道用水も同様の基準にしたものである。

問 町の受水池から配水された地域は何処か。

水道事業所長 松島区、桜渡戸区、手樽区の全域と磯崎の一部である。

問 今後も様々な事故が想定される。厚労省は危機管理対策マニュアルの指針を示しているがマニュアルは作っているか。

水道事業所長 事業所には、漏水、水質事故、地震等の連絡体制や行動計画を定めた危機管理計画書があるが、本事業での詳細はなく、今後、精度の高い計画書にしたい。

問 松島駅にエレベーターの設置を

答 実現へ粘り強く取り組みたい

問 昨年、松島海岸駅にエレベーターが設置された。松島駅にも一日も早いエレベーター設置をとの声がある。仙石東北ラインの開通により松島駅と高城駅の利用者数が逆転した状況もあるが、バリアフリー化に向けた本町の取り組みを伺う。

町長 バリアフリー法で1日当たりの利用者数が3,000人以下の駅はバリアフリー化が努力目標、2,000人以上3,000人未満は、自治体が策定する基本構想に位置づけられた施設を原則、全バリアフリー化する。本町では、平成29年度

策定のバリアフリー基本構想が後押しとなり、松島海岸駅のバリアフリーが実現した。町としても松島駅のバリアフリー化を強く望んでおり、機会を捉えてJR東日本及び宮城県に要望等を行っている。今後も粘り強く取り組みたい。



松島駅舎(上)と松島駅ホーム(下)



一部事務組合議会報告

塩釜地区消防事務組合議会

令和4年第4回定例会

令和4年12月27日（火）

行政報告

①コロナ患者搬送状況

管内600人（疑い含）
（内、陽性患者480人）

②火災件数

管内 36件
（前年比4件減）

③救急出場件数

管内 9,090件
（前年比946件増）

④要介護認定審査判定数

管内 5,020件
審査会開催 169回

⑤障害支援区分判定件数

管内 16件
審査会開催数 194回

⑥塩釜地区環境センターの
搬入総量

5,409トン
（前年比37トン減）

（前年比37トン減）

⑦塩釜斎場及び塩釜地区り
ふ斎苑の利用実績

管内 1,568件
（前年比148件減）

*令和4年4月～11月末

議案の審査状況

令和4年度一般会計補正
予算（第2号）、介護認定

審査事業特別会計補正予算
（第1号）、障害支援区分審

査事業特別会計補正予算
（第1号）、環境事業特別会

計補正予算（第1号）、給
与に関する条例の一部を改

正する条例の5議案

賛成全員・可決

米川 修司議員
片山 正弘議員

宮城東部衛生処理組合議会

令和4年第4回定例会

令和4年12月23日（金）

行政報告

①ごみの搬入状況

3万3,359トン
（前年比408トン増）

松島町分

4,219トン
（前年比172トン増）

②災害ごみの搬入状況

（令和4年15・16日の大雨）
251トン

松島町分

240トン

③焼却灰、排ガス中の放射
性物質濃度及び埋立地浸出

水処理水、地下水、各施設
敷地空間放射線量の測定結

果は、いずれも目安や基準
の範囲内にある。

*令和4年4月～11月末

議案の審査状況

給与に関する条例の一部
を改正する条例、令和4年

度補正予算（第2号）の2
議案

賛成全員・可決

赤間 幸夫議員
高橋 幸彦議員

宮城県後期高齢者医療広域連合議会

令和5年第1回定例会

令和5年2月1日（水）

議案の審査状況

広域連合長提出

13件
①専決処分（職員の育児休
業等条例の一部改正）

承認

②条例の一部改正（議案第
4号（第7号）の4件、令
和4年度特別会計補正予算

令和5年度一般会計予算
（歳入歳出総額11億9,7
16万円）、規約変更2件

賛成全員・可決

同意

③監査委員の選任

同意

④条例の一部改正（議案第
2（3号）の2件、令和5
年度特別会計予算（歳入歳
出総額2,748億5,95
0万8千円）

賛成多数・可決

議員提出

1件
①個人情報の保護に関する
条例

賛成多数・可決

桜井ていこ議員

町民の声



ほんだ しょうや
本田 翔也 さん
(高城)

松島から世界へ

若者が活躍出来る町にするためと、松島の子ども達がスポーツで活躍できるようサポートする気持ちで地元に戻り接骨院を開業し5年が経ちます。

しかし、都会と比べスポーツ指導のレベル(トレーニングやケア)等に遅れがあると、とても感じました。松島から世界へ活躍できるように最先端のトレーニング理論と、トレーニングを指導しておりますが、個人の力だけではどうにもできません。

ました。無農薬で有機栽培をしている農家さんに色々ご教授頂き土作りから始めました。有機野菜の魅力を伝えるため、今後は有機野菜の販売も考えています。

全ては子ども達に本来の野菜の美味しさを知って頂きケガなくスポーツに打ち込んでもらい、世界に羽ばたいてほしいと願っています。

自分出来ることはしてありますがそれはなかなか難しいことです。地元のスपोर्टチーム、指導者の方々の力が必要であり、親子さんのご協力も必要です。ぜひ未来の子ども達のために力を貸してください。

例えば食事ですが、野菜嫌いな子どもが多いと感じます。安心して安全な四季折々の野菜を食べてほしい気持ちから農業を趣味で始め

議会の会議録を掲載しました

まつしま議会だより
バックナンバー

こちらから



松島町議会
ホームページ

こちらから



次回 第2回の定例会 6月8日(木) 開催予定

- ▶ 議会の傍聴は役場庁舎1階の「町民の部屋」でも視聴できます
- ▶ 議場で傍聴される方は住所と氏名の記入をお願いします

編集後記

私がこの編集後記を執筆した3月24日種子法廃止違憲訴訟判決言い渡しがありました。憲法25条にある「健康で文化的な最低限の生活」について言及し、「国民の衣食住への権利について否定できない」と裁判所は同条の食への権利が国民にあることを認めました。

この議会だよりが皆様のお手元に届く頃には、農家さんは田植え、家庭菜園は苗の植え付けの時期でしょう。松島の子ども達が世界に羽ばたき、大人も健康で、高齢者の方も元気で長生きできるように安心して安全な食の権利が松島町民にもあります。我が町の食料自給率が向上し地産地消が進み全ての産業が活性化することを願ってやみません。

これからも町民の皆様方からのご意見を丁寧に向い本町議会が一丸となって行政側と活発な論議を進めて参りますので一層のご指導をよろしくお願いたします。

広報広聴常任委員会広報分科会

- (小澤陽子)
- | | |
|-----|-------|
| 委員長 | 櫻井 靖 |
| 委員 | 菅野 隆二 |
| 委員 | 米川 修司 |
| 委員 | 桜井ていこ |
| 委員 | 杉原 崇 |
| 委員 | 小澤 陽子 |
| 委員 | 高橋 利典 |